

「炊飯袋」でカレー作り挑戦 南富良野高生

【南富良野】町内の南富良野高と南富良野中で「1日防災学校」が行われ、南富良野高は、全校生徒が炊き出し実習として、特殊なポリエチレン製の「ハイゼックス炊飯袋」を使ってカレーライスを作りに取り組んだ。

町は2016年の台風で水害が発生した8月31日を「町防災の日」と定め、小学校から高校まで、各校で防災教育を継続して実施している。



炊飯袋でカレーを作る南富良野高の生徒たち

今年の1日防災学校は8月30日に実施。南富良野高の生徒たちは「無洗米を袋に入れる」「水を入れる」「カレー粉を細かくする」「冷凍タマネギを袋に入れる」「袋の空気を抜き輪ゴムでしば

る」など、工程ごとに作業を分担し、米とカレールー各130人袋を作った。その後、沸騰した湯で米は30分、カレールーは20分ほど温めた。できたカレーは給食で食べたほか、希望する町民に配布した。

胆振管内安平町出身で、18年の胆振東部地震を経験した1年の鐘ヶ江湊さん(15)は「簡単に袋

もかさばらずいい案だと思った。災害時は助け合うことが大切だと思う」と話していた。

その後講演した町防災マネジャーの林隆峰さんは「きょうのご飯は通常の炊飯より固かったと思うが、炊き出しには安否確認やメンタルケアなど、連帯感の醸成など役割がある」などと強調していた。(中元克治)

避難所設営を確認 富良野の町内会

【富良野】市内の桂木町第3町内会は「防災の日」の1日、指定避難所になっている富良野西中

82人が参加した。十勝沖で巨大地震が発生し、市内で震度6の揺れがあったとの想定で、災害時に

災害へ日頃から備え